

## つくば市記者会 御中

発信日：令和4年（2022年）1月25日（火）

発信元：つくば市 総務部 ワークライフバランス推進課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

## デジタル化意識を醸成する 職員向け教育プログラムの実証を開始します

つくば市と株式会社NTTデータは、「スマート自治体実現に向けたRPAやAIを用いた業務自動化技術の有効性に係る共同研究協定」に基づき、職員のデジタル化意識の醸成を目的とした教育プログラムの実証を開始します。

市では、これまでに本庁部署の約3割にあたる32部署でRPA/AI-OCRを活用してきましたが、業務効率化・自動化をより進めるためには、デジタル技術を利用する職員のデジタル化への意識が不可欠であることから、プログラミング的思考に着目した研修等を通じてこれらの醸成を図っていきます。

また、本プログラムをスマート自治体における教育プログラムのモデルケースとし、庁内や他自治体等への業務自動化技術の普及促進を図るとともに、業務効率化・自動化により職員の単純業務を減らし「職員にしかできない業務」へ注力する環境を整えることで、住民サービスのさらなる向上を目指していきます。

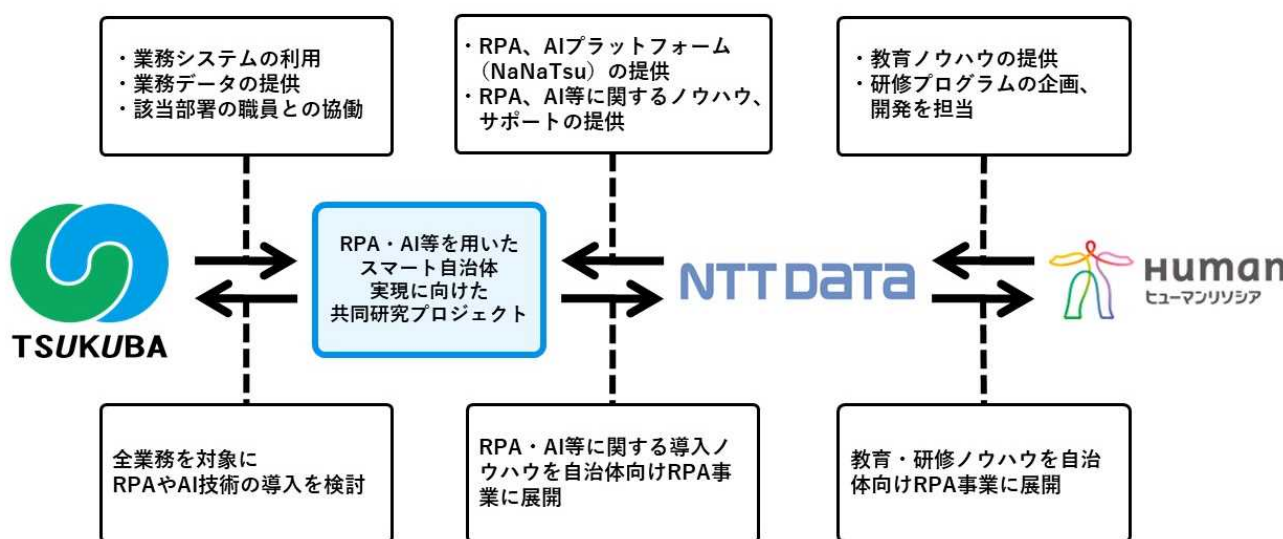
なお、プログラムの開発は、RPA等の導入において自治体への支援や教育サービスの提供実績が豊富なヒューマンリソシア株式会社と共同で行います。

### 【対象者】

本年度の新任主任級研修対象者等（概ね入庁5～6年目の職員）

### 【実施時期】

令和4年1月から3月末まで



図：教育プログラムの実証体制